

## オプトアウト文書（様式4）

### 患者様とご家族の方へのお知らせ

#### 「当院における大腸癌イレウスの治療選択の検討」へのご協力依頼

目的：イレウスを契機に発見された大腸癌に対して、根治手術までの術前処置としての治療選択は、経肛門的イレウスチューブや大腸ステントによる減圧治療や人工肛門造設術など多岐にわたります。当院における大腸癌イレウスの臨床学的特徴や治療戦略について検討します。

なお、本研究は中津市立中津市民病院の倫理・治験審査委員会での承認を得て、中津市立中津市民病院病院長の許可を得ています。

研究場所：中津市立中津市民病院 外科。

研究時期：承認日から2024年12月31日

研究対象：当院で大腸癌に対して手術を施行した150例のうち、術前に通過障害をきたしイレウスと診断された24例

研究方法：臨床病理学的因子や術前治療、手術術式について検討します。

なお、この研究のために、患者さんの診療記録（情報：病歴、カルテ番号等）を調べさせていただくこともあります。

患者さんの試料および診療情報は、国の定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、匿名化したうえで管理しますので、患者さんのプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

本研究で得たデータの全ては鍵のかかる部屋で保管します。電子媒体を保存する場合はパスワード機能の付いたUSBやパソコンで保管します。連結可能匿名化した場合、その個人情報はメール等で院外に持ち出しません。また、研究終了後3年後に紙媒体はシュレッダーで、電子データは完全削除します。

#### 【外部への試料・情報の提供】

取得した試料・情報を提供する際は、記録を作成し中津市立中津市民病院で保

管します。

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

中津市民病院 外科医師 樋口 椋介

**【患者さんの費用負担等について】**

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来薬物などの開発につながり、利益が生まれる可能性があります。万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

**【研究資金】**

本研究においては、患者さんの費用負担はありません。

**【利益相反について】**

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）は発生しません。

**【研究の参加等について】**

本研究へ試料および診療情報を提供するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に試料・診療情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの試料・診療情報は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

患者さんの試料・診療情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、研究代表者（中津市立中津市民病院 外科）の樋口椋介までお問い合わせ下さい。0979-22-2480（病院代表）：平日9時-17時。

2023年10月10日

中津市立中津市民病院

役職 外科医師

氏名 樋口椋介

（研究代表者）

（平成30年11月21日改定）